



## ご挨拶



公益財団法人日本バスケットボール協会 会長

### 三屋 裕子

昨年夏に日本、フィリピン、インドネシアの3か国  
共催で行われたFIBAバスケットボールワールドカップ  
2023は盛況のうちに無事閉幕いたしました。開催地・  
沖縄のみならず日本中からの熱いご声援に後押しさ  
れ、お蔭をもちまして男子日本代表チームは目標と  
していたパリ2024オリンピックへの出場権を手にする  
ことができました。弊会の活動並びに本大会の開催にご  
賛同とご寄附をいただきました皆様方に対し、あらた  
めて御礼を申し上げます。

皆様からお預かりいたしました寄附金につきましては、  
沖縄県内の離島に住む子どもたちの本大会へのご  
招待、県内チームへのボールの寄贈、那覇市・沖縄市・  
宜野湾市・北谷町などへの大会記念ベンチやLED照明  
の寄贈へと大切に使用させていただきました。皆様方の  
思いが本大会のレガシーとして沖縄の皆様、とりわけ  
次世代を担う子どもたちの心に深く刻まれたことと確  
信しております。

皆様のご厚情に対し重ねて御礼を申し上げ、以上ご  
報告とさせていただきます。今後ともなにとぞお力添  
えのほど、よろしくお願いいたします。



沖縄県知事

### 玉城 デニー

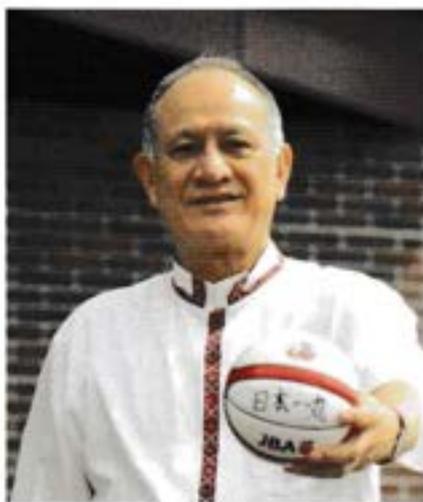
「バスケットで沖縄を元気にプロジェクトメモリアルブッ  
ク」の刊行にあたりご挨拶申し上げます。

FIBAバスケットボールワールドカップ2023は日本  
代表チームがパリ2024オリンピックの出場権を獲得  
する活躍もあり、大いに盛り上がりました。

日本バスケットボール協会は、この大会に県民が一  
丸として関わることが出来る仕組みとして、県内企業  
を対象とした「法人向け寄附プログラム」を策定し、  
その寄附金を活用した「離島の子どもたちをワールド  
カップへ招待」、「子どもたちへワールドカップ限定ボー  
ル寄贈」等、様々な取組を実施されました。

この取組は、大会の盛り上がりにも寄与しただけでな  
く、沖縄の子どもたちの今後において、夢と希望を抱  
き続けるレガシーになるものと確信しております。

結びに、このような仕組みを作って頂いた日本バス  
ケットボール協会並びにこの理念にご賛同いただき、  
寄附していただいた皆様に感謝と敬意の念を表すと  
ともに、皆様の引き続きのご健勝とご活躍を祈念し、挨拶  
といたします。



一般財団法人 沖縄県バスケットボール協会 会長

## 日越 延利

2023年の沖縄はバスケットボール イヤーでした！  
FIBAバスケットボールワールドカップ2023の会場  
となった沖縄アリーナでは約12万5800人が観戦し、  
男子日本代表チームがバリ2024オリンピック出場権  
を獲得するなど成功裏に終わりました。

今大会のために沖縄アリーナを整備し財政的な支援  
を行っていただいた沖縄市や沖縄県、近隣市町村の協  
力なしにはこの成果は得られなかったものであり、心  
より感謝申し上げます。

また沖縄県や沖縄市、多数の企業の協力のもと離島  
を含む1万人余の子どもたちにも観戦してもらうことが  
でき、その中で多くの子どもたちが目を輝かせ食い入  
るように試合を観ていたのが印象的でした。

今大会の開催は、運営に携わる県バスケットボール  
協会の若手にも貴重な体験となり、次世代へ繋がるも  
のになったと思います。数年後、この大会が日本バス  
ケット界のターニングポイントになったと必ずや言われ  
るものと自負しています。開催前だけでなく大会中も課  
題が山積していましたが、皆様の協力のもと大会が無  
事に終えて安堵しているところです。携わっていただ  
いたすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。





沖縄市長

## 桑江 朝千夫

沖縄から全世界を熱狂の渦に巻き込んだ、FIBAバスケットボールワールドカップ2023は成功裏に終了することができました。

本市の沖縄アリーナが会場となりました本大会では、特に、子どもたちの心に残るように、大会開催前から様々な取り組みを進めてまいりました。世界レベルのプレーを間近で見られたことは、未来を担う子どもたちに大きな夢と希望を与えることができたものと確信しております。

また、地域や経済への活性化にも大きな効果をもたらされ、本大会で得られた経験を、レガシーとして、これからの魅力あるまちづくりに活かしてまいります。

結びに、大会開催にあたり、本プロジェクトに多大なるご支援を賜りました企業各社及び関係者の皆様に、深く感謝申し上げます、本書発刊のご挨拶いたします。



那覇市長

## 知念 覚

FIBAバスケットボールワールドカップ2023は、日本中、世界中を熱狂の渦に巻き込み、大盛況のうちに閉幕しました。このような世界的なビッグイベントを、ここ沖縄で開催できたことは、本市にとりましても大変意義深いものであり、本イベントの開催、運営にご尽力されました多くの皆様に本市を代表して感謝を申し上げます。

「バスケットで沖縄を元気にプロジェクト」では、本県で初めて行われるスポーツの国際大会で沖縄を盛り上げること、また、次世代を担う沖縄の子どもたちに夢や希望を与える大会とするべく応援寄附金を募ったものと同っております。

本プロジェクトを立ち上げた公益財団法人日本バスケットボール協会をはじめ関係者の皆様、そして、その素敵な理念のもと、寄附をされた多くの企業の皆様に心から敬意を表しますとともに、この思いが沖縄の子どもたちの未来に繋がっていくことを願っております。



宜野湾市長

## 松川 正則

FIBAバスケットボールワールドカップ2023の沖縄会場には、国内外から12万5千人を超えるバスケットボールファンが来場し、大きな盛り上がりを見せました。これも偏に、「バスケットで沖縄を元気にプロジェクト」を通した、多大なサポートにより達成できたものと存じます。

当プロジェクトにより、県内ミニバスケットボールチームへのバスケットボールの寄贈やワールドカップデザインのベンチの設置など、まさに当プロジェクトが目指す、次世代を担う子どもたちに夢と希望を与える素晴らしい取組みができたものと思います。

本市としましてもこの大会を一過性のものとせず、ワールドカップレガシーを活かしながら、今後のスポーツ振興、また子どもたちの将来の夢に繋がるような事業を取組んでまいります。

結びに当プロジェクトにご支援頂きました皆さまに心より感謝申し上げますとともに、これからのご活躍、ご発展を祈念申し上げ、挨拶いたします。



北谷町長

## 渡久地 政志

FIBAバスケットボールワールドカップ2023の開催にあたっては、この小さな沖縄県に国内外から多くの方が訪れ、国際大会らしい大変な盛り上がりを見せました。本大会は、沖縄のみならず日本のバスケットボール史に残る大会であったと思います。

このような貴重な機会に「バスケットで沖縄を元気にプロジェクト」により、多くの離島の子どもたちを試合に招待できたことは、大変素晴らしいことであり、本大会が未来を担う子どもたちに大きな夢と希望を与えてくれたものと思います。

またこれだけにとどまらず、県内バスケットボール協会登録全チームへのボール寄贈や本町においては、ワールドカップデザインのベンチのほか、LED照明もご寄贈いただきました。

これにより、子どもたちがバスケットボールに触れ、楽しめる環境が整備され、以前にも増してバスケットボールを楽しむ子どもたちが増えていると感じております。

結びに、本プロジェクトの実施に当たり、ご支援いただきました企業の皆様やご尽力賜りました関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、今後の皆様のご健勝とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。



## 沖縄アリーナが歓喜に包まれた感動の瞬間 日本代表、パリ2024オリンピック出場権獲得!

『FIBAバスケットボールワールドカップ(以下FIBAバスケットW杯)』は、2014年のスペイン大会より世界選手権から名称が変更されたバスケットボール界随一のビッグイベントだ。日本では2006年にさいたまスーパーアリーナをメイン会場に、北海道札幌市、宮城県仙台市、静岡県浜松市、広島県広島市の4か所で予選ラウンドを開催。各会場に多くのバスケットボールファンが足を運んだ。

これまで1ヶ国で行われていたFIBAバスケットW杯は、大会史上初の3ヶ国による共催で実施。フィリピンのマニラ、イ

ンドネシアのジャカルタ、そして日本の沖縄県沖縄市で熱戦が繰り広げられた。

沖縄グループステージのGROUP Eに入った日本は、「アジア1位となりパリ2024オリンピック出場権獲得」を目標と設定し、初戦のドイツ戦を迎えた。この試合ではその後、大会を制するドイツに敗れはしたものの第2戦のフィナランドには一時18点ものリードを奪われる展開の中、第4クォーターで河村勇輝(横浜ビー・コルセアーズ)の3ポイントシュートなどで逆転に成功。最終スコアを98-88として、大会初勝利を挙げた。この勝利をきっかけに、日本は勢いを増

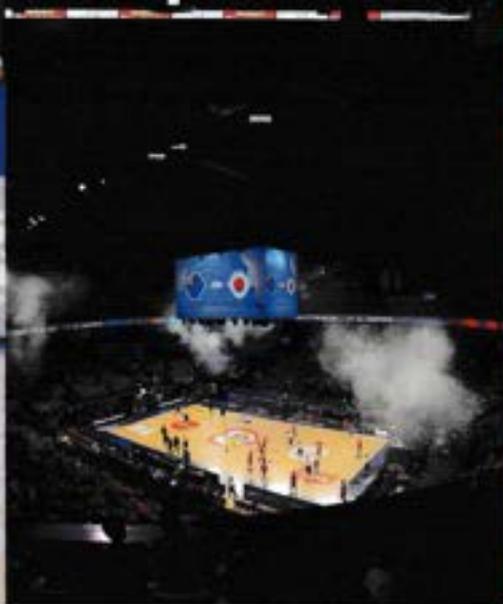
していくことになる。

第3戦、オーストラリアに敗れた日本は2次ラウンド進出を果たせず、順位決定戦に進むこととなる。迎えた初戦、ベネズエラのシュートに苦戦した日本は最大で15点ものリードを奪われる。しかし、この試合でも日本は第4クォーターに反撃。チーム最多の23得点をマーク





THANK YOU



した比江島慎(宇都宮ブレックス)が逆転シュートを決めると、そのまま押し切り、86-77で勝利した。

アジア勢のライバルと目されていた中国、フィリピン、イランらが苦戦する中、すでに2勝目を挙げている日本は、最終戦のカーボベルデに勝利すればアジア1位が決定するという大一番、第3クォーターまでは日本のペースで試合は進んだ。しかし、第4クォーターに入るとカーボベルデの粘りにあい、残り2分48秒まで無得点が続く苦しい展開に。それでも、勝利に執念を燃やす日本が最後の力を振り絞り80-71で勝利をもぎ取った。

勝利の瞬間、沖縄アリーナは駆け付けた多くのファンの拍手と歓声で歓喜に包まれる。

日本代表が自力でアジア1位をつかみ取り、パリ2024オリンピックの出場権を獲得した。

日本の最終順位は19位だったが、初となる大会3勝、さらにはヨーロッパ勢への勝利など大きな功績を残したと言えるだろう。加えて1976年のモントリオールオリンピック以来の自力でのオリンピック出場権獲得など、バスケットボールファンだけでなく、多くの人々の記憶に残る大会となった。



## FIBAバスケットボール ワールドカップ2023

### 開催期間

2023年8月25日(金)~9月10日(日)

### 開催地

フィリピン・マニラ、日本・沖縄、インドネシア・ジャカルダ

### 組み合わせ

#### フィリピン・マニラ開催

グループA: ドミニカ共和国、イタリア、アンゴラ、フィリピン

グループB: セルビア、プエルトリコ、南スウェーデン、中国

グループC: アメリカ、ギリシャ、ニュージーランド、ヨルダン

グループD: リトアニア、モンテネグロ、エジプト、メキシコ

#### 日本・沖縄開催

グループE: ドイツ、オーストラリア、日本、フィンランド

グループF: スロベニア、ジョージア、カーボベルデ、ベネズエラ

#### インドネシア・ジャカルダ開催

グループG: スペイン、ブラジル、コートジボワール、イラン

グループH: カナダ、ラトビア、フランス、レバノン

### 日本代表の戦績

#### 予選リーグ

vsドイツ 63-81 ○

vsフィンランド 98-88 ●

vsオーストラリア 89-109 ○

#### 順位決定ラウンド

vsベネズエラ 86-77 ●

vsカーボベルデ 80-71 ●

### 最終結果

- 優勝 ドイツ
- 準優勝 セルビア
- 第3位 カナダ
- 第4位 アメリカ
- 第5位 ラトビア
- 第6位 リトアニア
- 第7位 スロベニア
- 第8位 イタリア
- 第9位 スペイン
- 第10位 オーストラリア
- 第11位 モンテネグロ
- 第12位 プエルトリコ
- 第13位 ブラジル
- 第14位 ドミニカ共和国
- 第15位 ギリシャ
- 第16位 ジョージア
- 第17位 南スウェーデン
- 第18位 フランス
- 第19位 **日本**
- 第20位 エジプト
- 第21位 フィンランド
- 第22位 ニュージーランド
- 第23位 レバノン
- 第24位 フィリピン
- 第25位 メキシコ
- 第26位 アンゴラ
- 第27位 コートジボワール
- 第28位 カーボベルデ
- 第29位 中国
- 第30位 ベネズエラ
- 第31位 イラン
- 第32位 ヨルダン

# 寄附金プロジェクト概要

【名称】 バスケットで沖縄を元気にプロジェクト 法人向け寄附プログラム

【実施主体】 公益財団法人日本バスケットボール協会

【募集期間】 2023年4月1日～7月31日

【寄附金用途】 沖縄の子どもたちのためのバスケットボール環境の整備事業  
及びFIBAバスケットボールワールドカップ2023  
沖縄グループステージの運営費用



## 寄附特典

---

- ① 離島の子どもたちをFIBAバスケW杯へ招待
- ② 子どもたちへFIBAバスケW杯大会ロゴ入りバスケットボール寄贈
- ③ 安良波公園アラハビーチの環境整備
- ④ 記念碑／プレートへの社名掲載
- ⑤ 新聞広告への社名掲載
- ⑥ JBA公式サイトへの社名掲載



# 離島の子どもたちの招待

FIBAバスケットボールワールドカップ2023に、石垣島、久米島、宮古島、大東島の子どもたちの招待を行い、世界トップレベルのプレーを観戦しました。

## 石垣地区

県立八重山特別支援学校、大浜中学校、八重山高校、八重山商工高校、八重山農林高校 ※竹富島は台風につきキャンセル



## 久米島地区

久米島高校



## 宮古地区

平良中学校、宮古高校、宮古工業高校、宮古総合実業高校



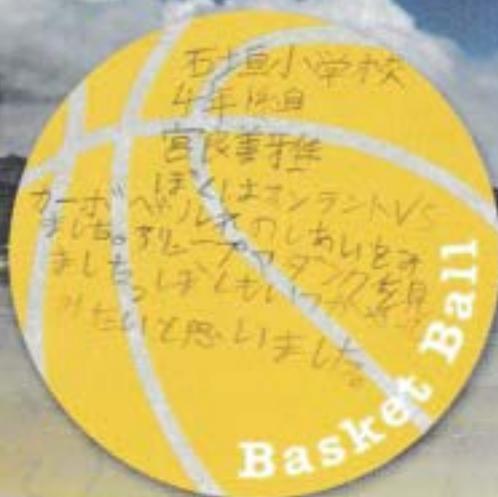
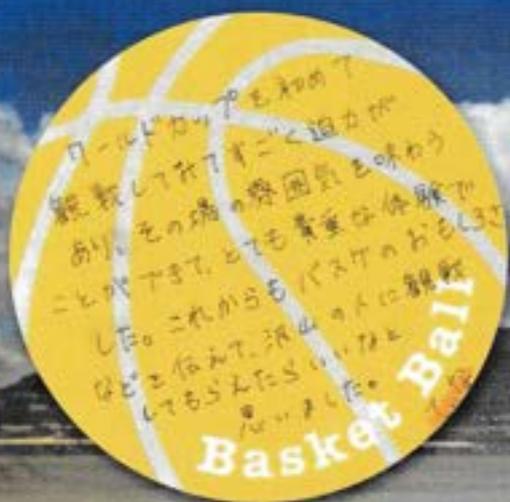
## 大東島地区

南大東小学校、南大東中学校  
北大東小学校、北大東中学校

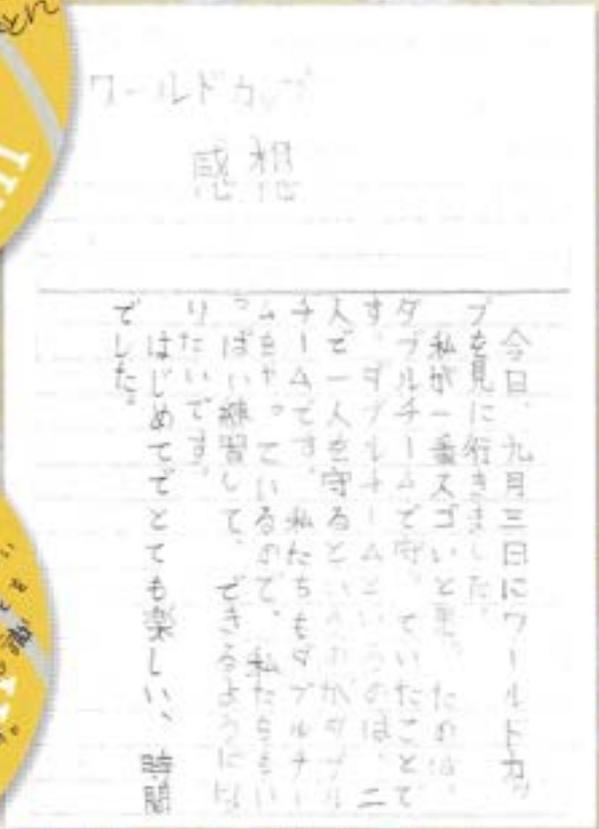
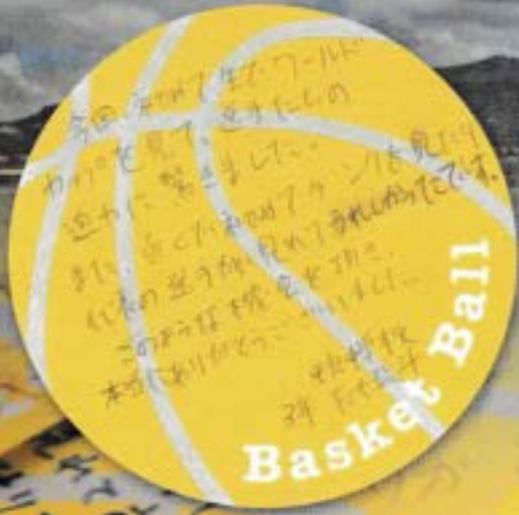
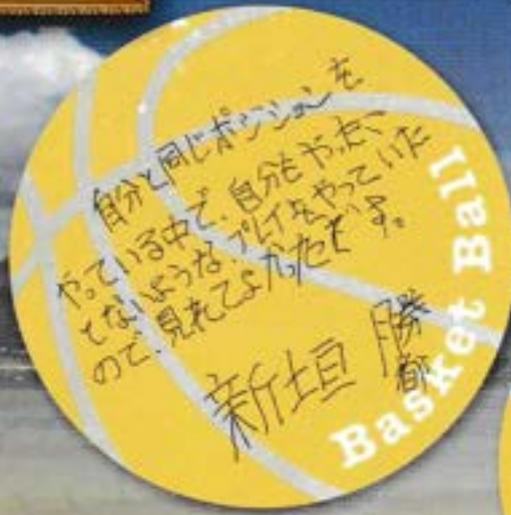


# 子どもたちからのメッセージ

寄附金プロジェクトの一環として離島の子どもたちをFIBAバスケットボールワールドカップ2023沖縄グループステージへ招待しました。沖縄県知事、石垣市長、宮古島市長から届いた感謝状とともに、子どもたちから届いた感謝のメッセージ合計238通のうち、一部を紹介します。







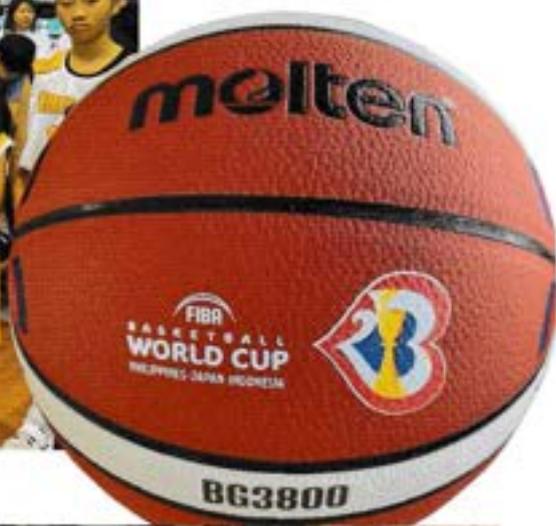
# 大会ロゴ入りバスケットボール1200個寄贈

2024年2月に石垣市総合体育館にてバスケットボールの寄贈式が行われました。八重山諸島の各離島より子どもたちが参加し、FIBAバスケットボールワールドカップ2023の大会ロゴ入りバスケットボールが贈られました。



FIBAバスケットボールワールドカップ2023の大会ロゴ入りバスケットボール

沖縄県バスケットボール協会の臼屋延利会長と与那国島(左)、小浜島(右)の子どもたち



# 安良波公園アラハビーチの環境整備

2023年12月9日、沖縄県北谷町にある安良波公園アラハビーチにて、「バスケで沖縄を元気にプロジェクト」の一環として、FIBAバスケットボールワールドカップ2023を記念して製作されたベンチ、LED照明の寄贈式が行われました。



## LED照明設置

設置前



設置後





## 寄附企業一覧

太田建設株式会社

株式会社沖縄銀行

沖縄テレビ放送株式会社

沖縄ヤマト運輸株式会社

株式会社サードシップ

株式会社シミズオクト

全保連株式会社

大和ハウス工業株式会社

株式会社日本M&Aセンター

株式会社三菱UFJ銀行

株式会社ヤング商事

株式会社琉球銀行

株式会社りゅうせき

株式会社沖縄海邦銀行

沖縄セルラー電話株式会社

株式会社沖縄ファミリーマート

株式会社國場組

株式会社サンエー

株式会社すこやかホールディングス

第一交通産業株式会社

株式会社仲本工業

三菱地所株式会社

百添会(沖電グループ)

株式会社リウボウホールディングス

琉球放送株式会社

※五十音順



一般財団法人愛知県バスケットボール協会	旭建設株式会社	株式会社アミューズメント沖縄
医療法人安心会 愛聖クリニック	株式会社E-CON	株式会社上原土木
ウチダエスコ株式会社	有限会社内盛産業	株式会社大城組
株式会社おきぎんジュエリービー	株式会社沖善社	株式会社沖創建設
株式会社沖縄環境保全研究所	オキナフグランメールリゾート	一般社団法人沖縄県建設業協会
株式会社沖縄県旅行業協会	沖縄市建設関連団体協力会	沖縄製粉株式会社
株式会社沖縄タイムス社	沖縄電力株式会社	沖縄トヨタ自動車株式会社
小野建沖縄株式会社	株式会社開邦工業	有限会社海邦生コン工業
一般社団法人神奈川県バスケットボール協会	久茂地都市開発株式会社	株式会社クリード沖縄
株式会社グレートイースタン	株式会社コウナン	コザ信用金庫
株式会社筑屋組	一般社団法人埼玉県バスケットボール協会	合同会社崎原鉄筋工業
有限会社三基土木	三貫株式会社	株式会社三和建設
一般社団法人静岡県バスケットボール協会	株式会社仁建設工業	セコム琉球株式会社
セノー株式会社	全日本空輸株式会社	株式会社創和ビジネス・マシナズ
株式会社ソリューションズ・ジャパン	第一工業株式会社	株式会社大寛組
株式会社大船オンユー・インシュアランス・マネジメント	株式会社大成ホーム	大同火災海上保険株式会社
大豊建設株式会社	株式会社高橋土建	拓伸会
一般社団法人千葉県バスケットボール協会	一般社団法人ちゃんぶるハウス	中部観光バス株式会社
中部興産株式会社	合同会社ツカサ	有限会社津堅工業
データスタジアム株式会社	株式会社テクノ工業	株式会社デンソー
一般社団法人東京都バスケットボール協会	株式会社東興電設	東洋電気工事株式会社
トータルゼータエンジニアリング株式会社	一般社団法人栃木県バスケットボール協会	株式会社富建
株式会社とみや商会	仲程土建株式会社	那覇鋼材株式会社
日本航空株式会社	日本トランスオーシャン航空株式会社	パナソニックコンシューマーマーケティング沖縄株式会社
有限会社ハンエイ	比嘉ペイント株式会社	有限会社日辺建設
株式会社普久原楽器	福山建設株式会社	株式会社富士建設
ポーたま株式会社	株式会社北勝建設	一般財団法人北海道バスケットボール協会
有限会社丸喜産業	株式会社丸政工務店	株式会社南日本警備保障
株式会社ミヤコン	株式会社基土木	株式会社星島組
株式会社星部土建	大和産業株式会社	一般社団法人山梨県バスケットボール協会
株式会社リアルエステートむつみ	琉海リース株式会社	琉球海運株式会社
株式会社琉球新報社	琉球ダイハツ販売株式会社	琉球通信工事株式会社
有限会社緑建	株式会社レキオス	



メモリアルブック

ありがとう